

■pg_rmanとpg_basebackupの比較
※調査対象のpg_rmanのバージョンは、1.3.8。

機能	pg_rmanでのコマンド例	Windowsでの代替手段
バックアップカタログの初期化	pg_rman init	バックアップ日時、ステータスなどは独自に管理する必要がある。
オンラインバックアップの実行	pg_rman backup	-
全体バックアップ	pg_rman -b full backup	pg_basebackupで代替
増分バックアップ	pg_rman -b incremental backup	前回バックアップ時のLSN(Log Sequence Number)を読み出し、それ以降のファイル・ページのみをバックアップする動きのため、そのロジックを独自で作成する必要がある。
アーカイブWALバックアップ	pg_rman -b archive backup	WALのアーカイブ先ディレクトリをバックアップする。
バックアップファイルの圧縮	pg_rman -b full backup -Z	pg_basebackup -F t -zで代替
リストア	pg_rman restore	-
リストア先のタイムラインの選択	pg_rman --recovery-target-timeline TIMELINE restore	recovery.confのrecovery_target_timelineに相当
リストアのターゲット時刻	pg_rman --recovery-target-time TIMESTAMP restore	recovery.confのrecovery_target_timeに相当
リストアのターゲットXID	pg_rman --recovery-target-xid XID restore	recovery.confのrecovery_target_xidに相当
過去のバックアップ履歴の表示	pg_rman show	バックアップ日時、ステータスなどは独自に管理する必要がある。
バックアップの検証	pg_rman validate	バックアップに使用するファイル数とそれぞれのファイルサイズを確認するロジックを独自で作成する必要がある。
バックアップの削除	pg_rman delete	バックアップファイルの削除は独自の運用が必要。
削除済みのバックアップのバックアップカタログからの削除	pg_rman purge	バックアップ日時、ステータスなどは独自に管理する必要がある。